



# 新・脳神経外科のご紹介

(ホームページアドレス: <http://www.shiga-med.ac.jp/~hqneuro/>)

脳神経外科 教授 野崎 和彦

脳神経外科は2008年2月から新任教授：野崎和彦のもと新しくなりました。脳出血や脳梗塞などの脳卒中、良性・悪性脳腫瘍、機能的疾患（顔面痙攣、三叉神経痛、パーキンソン病など）、外傷、小児先天性疾患、脳・脊髄に関連したあらゆる疾患について、予防、診断、治療、リハビリテーションに至る最先端の診療を行っています。頭痛、手足のしびれ、しゃべりにくい、歩きにくい、目が見えにくい、耳が聞こえにくい、ふらつくなど、おかしいと思ったら、早めの受診をお勧めします。



外来は外来棟 1階の脳神経センター（電話 077-548-2588）の中にあり、神経内科、精神科神経科と連携をとりながら診察しています。

◎外来担当表（2008年7月から） 外来受付時間：午前8時30分～午前10時30分（初診）  
午前8時30分～午前11時（再診）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	野 崎	椎 野 (間脳下垂体)	野 崎 (新患)	担当医	椎 野
	鈴 木 (脊髄、小児)	担当医	鈴 木		高 木
	深 見		地 藤		
午後		渡辺・白樫 (もの忘れ)			

## 【治療方針と特色】

患者さんの機能予後を重視し、脳機能イメージング、術中電気生理学モニタリング、ナビゲーションシステム、術中MRI、覚醒下手術など、最新の設備・機器・技術を駆使した安全性の高い外科治療、血管内治療や放射線化学療法などとの複合治療を心がけています。

## 【対象疾患】

- ・脳腫瘍（神経膠腫、髄膜腫、聴神経腫瘍、頭蓋底腫瘍、松果体部腫瘍、下垂体腫瘍など）
- ・脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、頸動脈狭窄・閉塞、硬膜動静脈瘻、脳出血、脳梗塞など）
- ・脊椎脊髄疾患（脊髄腫瘍、脊髄血管奇形、脊髄空洞症、変形性頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、変形性腰椎症、腰椎椎間板ヘルニア、脊椎管狭窄症など）
- ・機能疾患（三叉神経痛、顔面痙攣、痙性麻痺、パーキンソン病など）
- ・先天奇形（水頭症、髄膜瘤、頭蓋早期癒合症、キアリ奇形など）
- ・正常圧水頭症
- ・慢性硬膜下出血 など



脳神経外科スタッフ



野崎教授

# フットケア外来を開設しました



継続看護室 看護師長 伊波 早苗

糖尿病の合併症の一つに足の壊疽<sup>えそ</sup>があります。リスクの高い方には足のケアや指導をすることが壊疽の予防につながることから、当院でもフットケア外来を開設し、予防活動に取り組むこととなりました。医師の指示のもと専任の看護師が、足の状態を評価し、爪や角質のケアを実施し、靴の選び方や自宅でのケア方法を指導いたします。

## フットケア外来

外来開設日	毎週金曜日
対象者	糖尿病があり、神経障害・閉塞性動脈硬化症・足潰瘍・足趾切断既往のいずれかの状態のある方
受診方法	ご希望の方は主治医（どの科でも結構です）の先生にお申し出ください。
場所	内分泌代謝内科・腎臓内科外来
受診料	無料（平成20年7月1日現在） ※条件が整い次第、有料となる予定です。

# 患者給食にブラックバス料理を提供しました

栄養治療部



入院患者給食の選択メニューの1つとして、「ブラックバスのムニエル」を提供しました。患者さんからは、「ふつうの白身魚のようでおいしかった。」「思っていたよりクセがなかった。」などの声が聞かれました。

県内では琵琶湖の生態系に悪影響を及ぼす外来魚であるブラックバスを食べて減らそうという動きがあり、肝機能を高めるタウリンが豊富で脂肪が少なくヘルシーな魚であることに注目し、メニューを開発しました。今後は、毎月1回程度、選択メニューとして提供します。

# 「透析部」から「血液浄化部」に名前が変わりました！

血液浄化部 副部長 宇津 貴



「血液浄化」とは、血液から不必要なものや病気の原因となっている物質を取り除く治療です。腎臓に代わって血液から老廃物を取り除く透析がその代表です。これまで「透析部」という名称でしたが、腎臓病以外にも、膠原病、大腸疾患、皮膚疾患などに対し工夫した血液浄化を行っているため、6月1日から「血液浄化部」に名称を変更しました。

ベッド数が限られているため外来血液透析は出来ませんが、安心して最先端の医療を受けていただけるようにスタッフ一同努力してまいります。

# 病院再開発の進捗状況について

病院再開発推進室 専門職員 國友 陵一

## C病棟改修工事の竣工に伴う病棟移転が完了しました！

去る6月7日(土)、8日(日)にC病棟改修竣工に伴う病棟移転作業を行いました。入院患者さんやご家族をはじめ多くの地域医療関係者の方々に大変ご迷惑をおかけしましたが、ようやく移転後作業も一段落し、病院内も落ち着きを取り戻してきました。改修されたC病棟では、戻られた患者さんが「綺麗になったなあ」とお話しされているのを耳にします。病院スタッフも、リニューアルされた環境で、より高度で先進的な医療とより多くのサービスを提供できるよう、一丸となって努力してまいります。



C病棟外観



脳波検査ユニット



無菌病室

と話しされているのを耳にします。病院スタッフも、リニューアルされた環境で、より高度で先進的な医療とより多くのサービスを提供できるよう、一丸となって努力してまいります。



回復期4人室

## 国立大学附属病院(本院)初の回復期リハビリテーション病棟を開設しました！

2C病棟には、国立大学附属病院では数少ない回復期リハビリテーション病棟がオープンしました。これは、家庭復帰や社会復帰をめざしてリハビリテーションを集中的に行う病棟です。滋賀県からの要請や、患者さんの転院等に伴う負担軽減に対応するため、患者さんにとって十分満足できる効率的なリハビリ環境を整えました。

## 院内表示(サイン)も一新しました！

今回のC病棟改修工事竣工に伴い、病院全体の院内表示(サイン)もリニューアルしました。患者さんにとってわかりやすいように、色によって診療ゾーンを区分しております。



総合受付改修前



総合受付改修後

## 玄関左手奥に「カフェ コート」(UCC上島珈琲)がオープンしました。

患者さん、ご家族、お見舞いの方にコーヒーで「ホット一息」ついていただけるようコーヒー喫茶の営業を開始しました。ケーキ、パン、飲み物のテイクアウトも可能です。オープン以来、多くの方にご利用いただいております。



10月頃から残るA・B病棟の改修、中央診療棟の増築、給食棟の改修工事に入ります。特に工事期間中、県内外の周産期関係者の方々にご迷惑をおかけしますが、病院再生のため、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

病院再開発事業に関するご意見・ご提案等ありましたら、病院再開発推進室までお申し出ください。ご意見箱もご利用ください。

(TEL : 077-548-2954 直通 メールアドレス : hqsaikai@belle.shiga-med.ac.jp)

## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第19号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します